

コースツリーに関する アンケート 【結果報告】

東京大学教養学部学生自治会学部交渉局

令和元年(2019年)11月8日(金)

【調査の概要】

実施期間

令和元年(2019年)10月8日(火)から23日(水)

実施主体

東京大学教養学部学生自治会学部交渉局

実施対象

主に前期課程生。

広報手段としては、ビラおよびLINE@を利用した。これらを閲覧した後期課程生も排除していない。

回答数

148件

注意事項

記述回答については、編集の都合上要旨を変えないと考えられる程度に編集を加える場合がある。また、同様の意見が複数あったものについては統合して表示した場合があるが、この場合原則として「類似〇名」のように表示している。

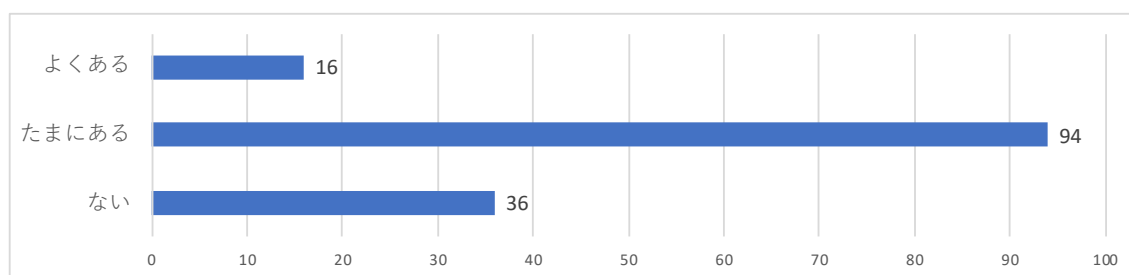
回答の百分率(パーセント)については、それぞれについて四捨五入したものを表示しており、必ずしも合計が100%になるとは限らない。

【内容 1】履修科目の選び方について

Q1 あなたは、履修選択において興味のある分野の講義を見落としたことがありますか。

回答数：148

「よくある」「たまにある」と答えた人が全体の75%を占めている一方、「ない」と答えた人は全体の25%であった。比較的頻繁に見落としが発生していることが窺える。



Q2 見落とした講義の科目名とその分野、見落とした理由を教えてください。(たとえば「総合科目 D 情報メディア基礎論、災害系の講義が分散していたから。」) [Q1 で「はい」の回答者]

回答数：9

全般的に講義数が多く、全ての講義に十分に目を通せていない事情が窺える。シラバスの閲覧性の悪さをあげた回答も複数件存在した。

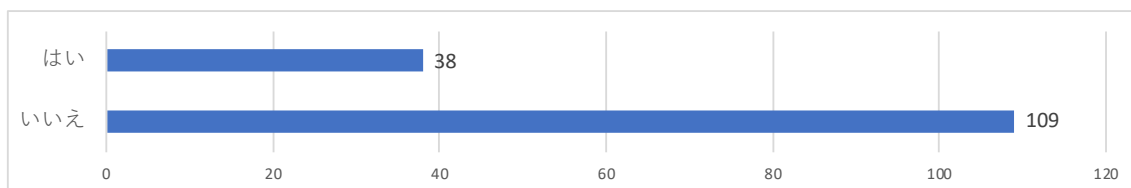
○回答

- 認知脳科学実習 紙シラバスがなかったので事前登録が必要なことが授業当日に出席するまでわからなかった。
- 情報システム基礎 講義名が内容と合っていないため
- D 社会システム 取りたい E 系列と被っていたから
- 主題科目「空間デザイン実習」 1S で必修と総合科目について理解するのに手一杯で主題科目まで見る余裕がなかった
- 主に主題科目
- シラバスに関する問題(見にくい、説明不足他) (3 件)
- 授業数が多い
- 勉強不足

Q3 1 年次に履修した科目のうち、2 年次に履修した方が良かったと感じた科目はありますか。

回答数：148

「はい」と回答した人が全体の 25.7%である一方、「いいえ」と回答した人は全体の 74.3%であった。回答者のおよそ 4 人に 1 人が 2 年次に履修した方が良かったと感じている科目があると回答した。



Q4 差し支えなければ、1年次に履修した科目のうち、2年時(原文ママ)に履修した方が良かったと感じた科目と、その理由をお聞かせください。[Q3で「はい」の回答者]

回答数：30

講義のレベルが1年生には難しいと挙げる意見が目立った。もっぱら理科系の科目に対するもので、講義に登場する数学や物理が未修の段階では難しいと感じたことが要因の一つとして考えられる。文科系では、レポートの書き方がわからないと回答した声があった。加えて、1年生では忙しく総合科目まで手が回りづらいとする意見も複数見られた。要因として、入学してすぐに勝手がよくわからず、多くの科目を抱え込んでしまう事例が考えられる。

○回答

[総合科目]

- ジェンダー論(C) 進学選択が近い2年生が一丸となって受講しシケプリを回しあっていたため、1年生は相対評価が下がってしまう傾向にあるから
- 現代経済理論(C) レポートの書き方を学ぶ前に1万字程度のレポートを書くことになるから
- 環境エネルギー工学概論(D) 熱力学の知識が前提となっていたから
- 統計物理学(E) 熱力学の知識が前提となっていたから
- 相対論(E) テンソルが難しいから
- 基礎化学(E) 理科系で少し発展的な内容だから
- 有機反応化学(E) 構造化学、物性化学を受ける前では理解しづらい(改善されたとの声あり)
- 地球惑星物理学入門(E) 基礎的な数学ないし物理の知識が十分でないと感じたから
- 生物素材の科学(E) テスト内容が多く勉強時間がなかったから
- モデリングとシミュレーション基礎(F) 2年生が多く、数Ⅲの範囲を扱っていたから
- 基礎統計(F) 数学が進んだ方が理解が進むから、1年は忙しいから

[基礎科目]

- 英語二列W もっと良い論文が書けたと思うから
- 第二外国語初級演習 一列二列で基礎文法を習った後の方が良かったから
- 社会科学 時間割の都合上、興味のある分野は2年生でやるべきだから
- 電磁気学 ベクトル解析等の必要知識が2S開講のため
- 量子化学

[展開科目、その他]

- 展開科目 2年の方が落ち着いて取り組める
- “難しい”講義 1年次に独学し、2年で履修すると独学が理解の助けになる。
- 必修の勉強に時間をとられ総合科目位の勉強が疎かになった(複数)

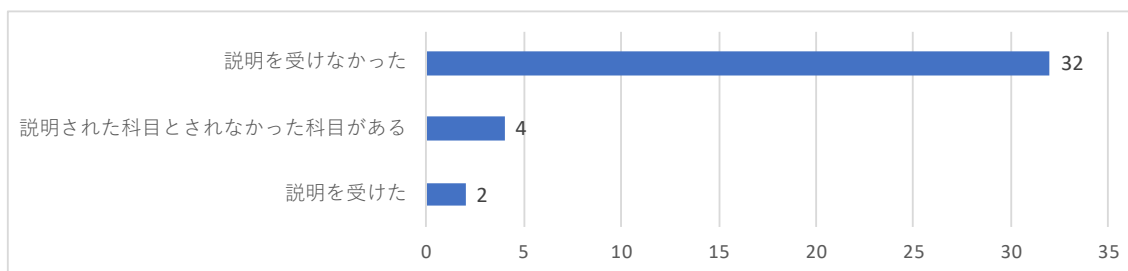
Q5 Q3・4で答えた科目について、シラバスやガイダンスで「2年次に履修した方が良い」という説明を受けていましたか？

回答数：148

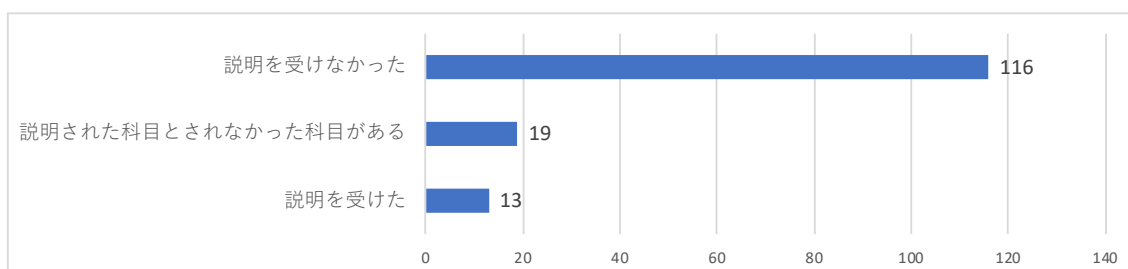
Q3において2年次に履修した方が良かったと感じた科目がある人のうちで、その可能性がある旨「説明を受けなかった」と回答した人が84%であり、「説明された科目とされなかった科目がある」と回答した人が11%、「説明を受けた」と回答した人が5%であった。Q4において2年次に履修した方が良かったと感じた理由が複数あることが確認されており一概には言えないが、1年時の必修に含まれる内容を扱っている講義のうちで、その旨の説明が十分になされていない可能性は排除できない。

なお、Q3において2年次に履修した方が良かったと感じた科目が「ない」と回答した人も対象に含まれており、そうした回答者の回答を除いたものと全回答と2種類の集計を実施した。

○Q3で「はい」と回答した人のみ



○全回答

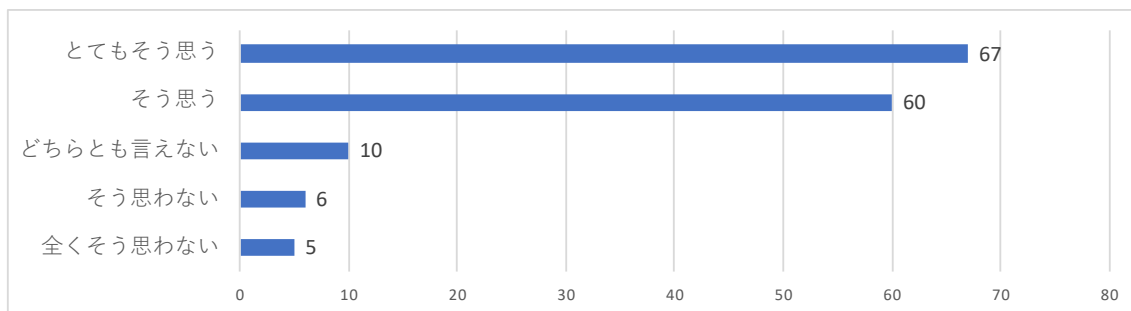


Q6 もし1年次の科目(必修科目等)とのつながりが示された図のようなものがあつたとして、1年次に履修するか2年次に履修するかの参考になるとおもいますか。

回答数：148

必修科目等とのつながりに着目するべく、コースツリーの設問に先立って本設問を作成した。

「とてもそう思う」「そう思う」と回答した割合は85.8%であり、「どちらとも言えない」が6.8%、「そう思わない」「全くそう思わない」の合計が7.5%であつた。つながりを示す図の要望は大きいと考えられる。

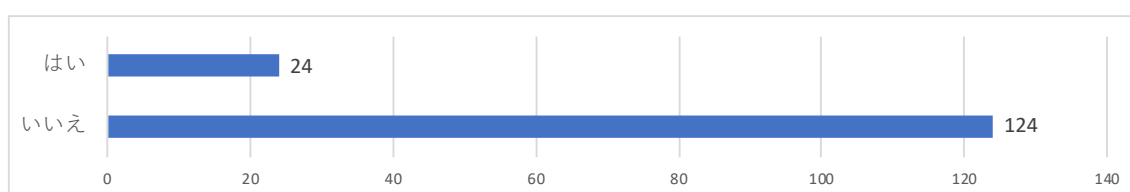


【内容 2】 MIMA SEARCH について

Q7 あなたは、MIMA SEARCH を利用したことがありますか。

回答数：148

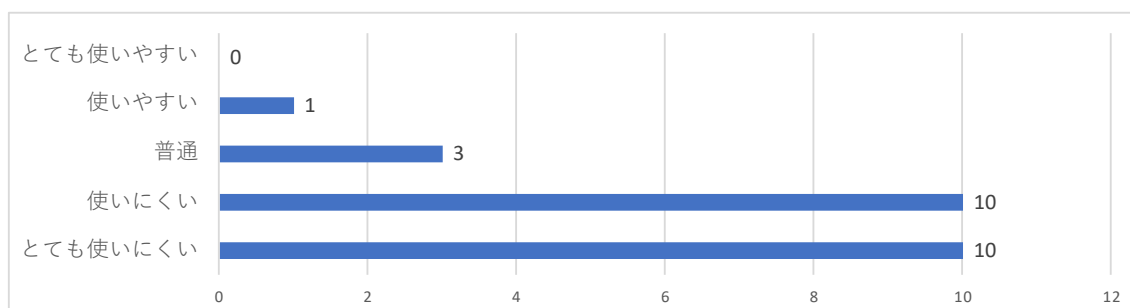
MIMASearch を利用したことが「ある」と回答した割合は、全体の 16.2%であり、「いいえ」と回答したいが残りの 83.8%である。MIMASearch があまり前期課程生に浸透していないことが窺える。



Q8 MIMA SEARCH の使いやすさについてお伺いします。[Q7 で「はい」の回答者]

回答数：24

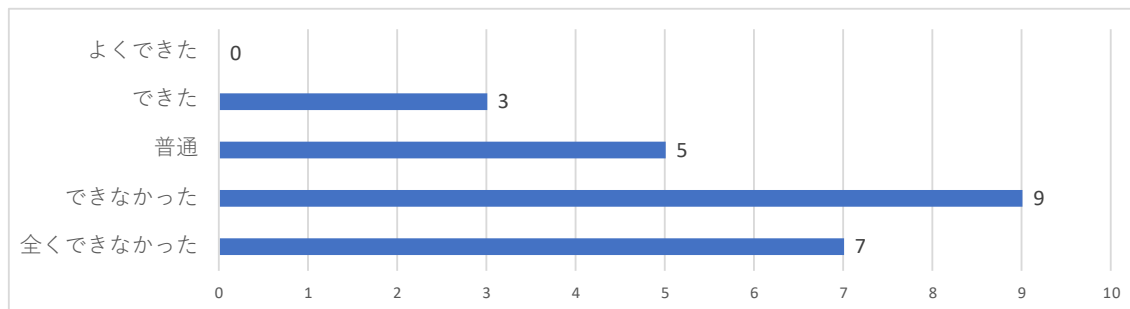
「使いにくい」「とても使いにくい」と答えた人の割合が全体の 83.4%(24 人中 20 人)であった。「普通」と回答した割合は 12.5%で、残りの 4.2%(1 人)が「使いやすい」と回答した。現状の MIMASearch の満足度はあまり高くないことが窺える。なお、MIMASearch の利用者が少なく、回答の母数が特に少ない点には留意が必要である。



Q9 あなたは、MIMA SEARCH を利用して、授業間のつながりをつかむことができましたか。[Q7 で「はい」の回答者]

回答数：24

「できた」と答えた人が全体の 12.5%(24 人中 3 人)であった一方、「できなかった」「とてもできなかった」と答えた人は全体の 66.8%(24 人中 16 人)を占めていた。MIMASearch を活用できた学生はいるものの、大半の人が MIMASearch を活用できていないことが読み取れる。



Q10 MIMA SEARCH について、使いやすい、または使いにくいと感じた点、その他 MIMA SEARCH に対する意見があれば、具体的にお聞かせください。[Q7 で「はい」の回答者]

回答数：9

前期課程と後期課程をまたがって表示され、これによる利便性を指摘する声があった。一方で、消極的な意見も目立った。

○回答

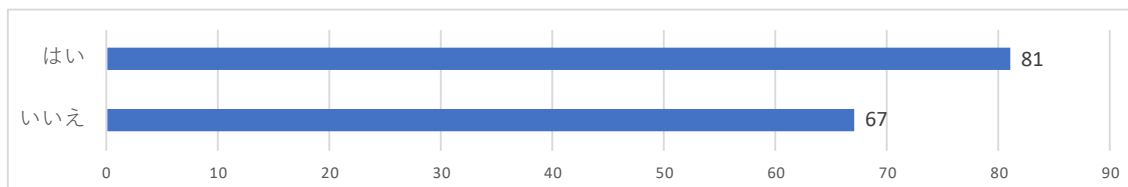
- 前期課程の科目と後期課程の科目のつながりがよく見える。例としては基礎統計に続く科目を調べたら後期課程の科目がヒットし、履修の参考となった。
- 関係図だけ見ても意味がない
- スマホで見づらい
- 重い
- 各講義のシラバスへ飛びにくい
- 逐一クリックしないと詳細が見れず面倒
- 意味不明(2 件)

【内容 3】 化学部会のコースツリー(以下：化学のコースツリー)について

Q11 あなたは、化学の部会が作成したコースツリーを見たことがありますか。

回答数：148

「はい」と回答した人が全体の 54.7%であった。残りの 45.3%が「いいえ」と回答した。回答者が理科生であるか文科生であるかはわからないものの、本学前期課程生のおよそ半分が化学とあまり関わりのない学生が多い文科生であることを考慮すれば、一定の浸透率であると評価できる。

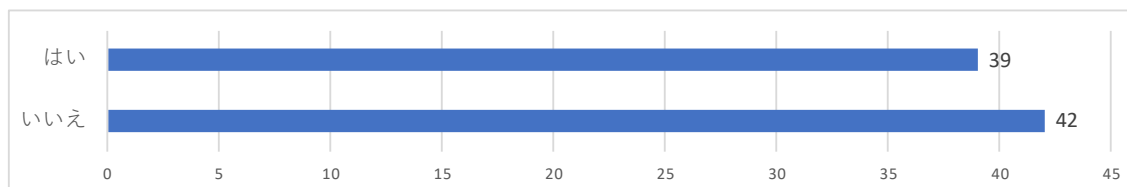


Q12 あなたは、化学のコースツリーによって新たな化学関連の講義を知ることがありましたか。あれば科目名も教えてください。[Q11で「はい」の回答者]

回答数：81

「はい」と答えた割合が全体の48.1%であり、残りの51.9%が「いいえ」と回答した。半数の学生が化学のコースツリーを通じて新しい講義を知ったと回答した。具体的な科目としては総合科目を挙げる回答が多かった。この設問は化学のコースツリーを見たことがある人のみを対象としていることに留意が必要である。

○グラフ



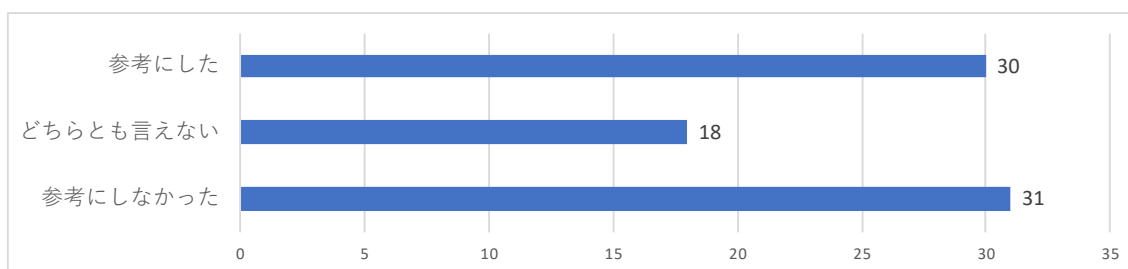
○「はい」と答えたうち科目名の回答(回答数：39)

- 基礎化学 8
- 化学平衡と反応速度 9
- 有機反応化学 7
- 自然科学ゼミナール 7
- 構造化学 2
- 物性化学 3
- 基礎実験 1
- 環境物質科学 8
- 超分子化学 10
- 物質科学(文科生) 3

Q13 あなたは、化学のコースツリーを化学関連の講義の履修計画を組むにあたって参考にしましたか。[Q11で「はい」の回答者]

回答数：81

「参考にした」と回答した割合が38.3%、「参考にしなかった」と回答した割合が39.5%、残りの22.2%が「どちらとも言えない」と回答している。参考にした学生が全体の4割近くを占めている一方、参考にしていない学生も同じく4割程度いた。



Q14 化学のコースツリーを参考にしたという方は、具体的にどのように利用したのかお聞かせください。[Q11で「はい」の回答者]

回答数：23

多くが総合科目の履修において参考にしたとの回答であった。

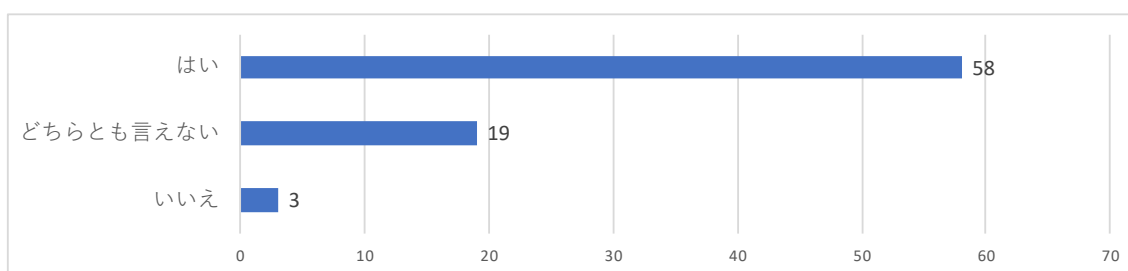
○回答

- 2年以降で化学の勉強をしたいと思い、化学平衡と反応速度の履修を決めた
- 新設された1Sの基礎化学を受けるかどうかをコースツリーを見て決めた。(類似複数)
- 1A以降の化学関係の科目の準備として、1Sで基礎化学を履修した。(類似複数)
- 化学平衡と反応速度が1年次のみだったが、その後前期課程で必ずしも発展するものではないことがわかり、受講しないこととした。
- 有機反応化学をいつ履修するかなどの参考にした。
- 化学全体のつながりも大まかにではあるものの知ることができた。
- いつのどの科目が開講されるのか調べた
- 1年のうちに学ぶべき内容と、2年で良い内容を見分けた。(類似複数)
- 必修以外の化学系の科目を取る否か考える際に利用した。
- 2年次になってから知って手遅れだった

Q15 あなたは、化学のコースツリーによって前期課程の化学の講義のカリキュラム(体系)をよりよく理解できたと感じていますか。[Q11で「はい」の回答者]

回答数：81

全体の72.8%が「はい」と回答しており、「いいえ」は3.7%、残りの23.5%が「どちらとも言えない」であった。全体の4分の3近くが「はい」との回答で、Q13で参考にしなかったと回答した学生の中でも、カリキュラムを理解するには役立っていることが考えられる。

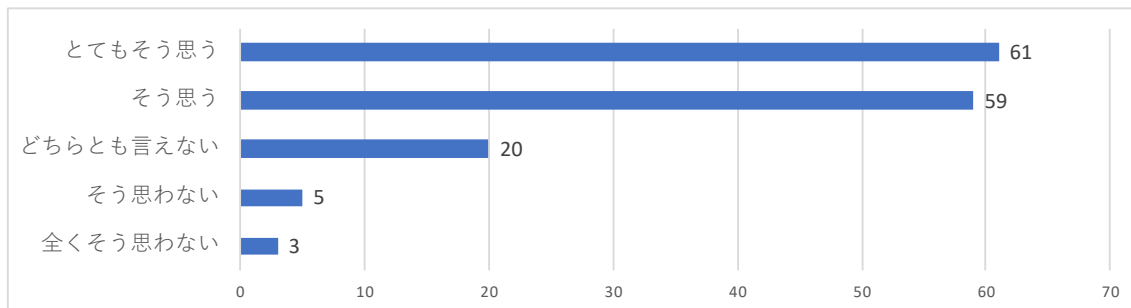


【内容 4】コースツリーの導入について

Q16 あなたは、本学前期課程においてコースツリーが全面的に導入されれば、自分の履修、学修の質が向上すると思いますか。

回答数：148

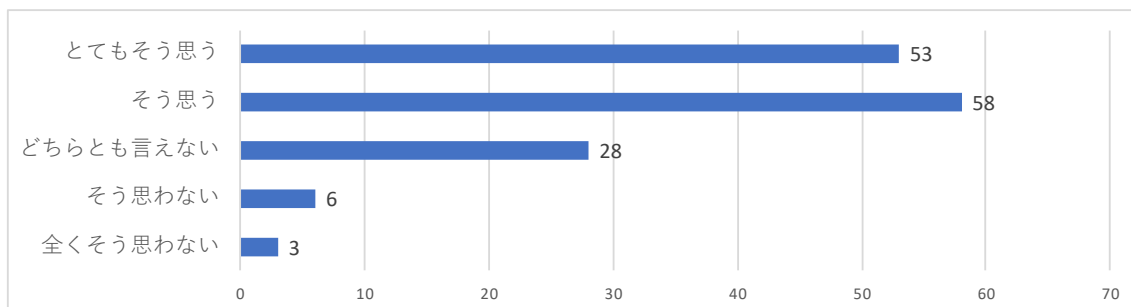
「とてもそう思う」「そう思う」の合計が81.1%、「そう思う」「そう思わない」の回答が5.4%で、残りの13.5%が「どちらとも言えない」との回答であった。回答した学生のうち8割を超えるがコースツリーの有用性があるとの認識を示した。



Q17 あなたは、本学前期課程でコースツリーを全面的に導入すべきであると思いますか。

回答数：148

「とてもそう思う」「そう思う」の合計が75.0%、「そう思う」「そう思わない」の回答が6.1%で、残りの18.9%が「どちらとも言えない」との回答であった。回答した学生のうち8割は導入すべきという意見を持っていた。



Q18 その他、コースツリーに関して何かご意見があれば、ご自由にお書きください。

回答数：18

学修の質の向上につながるのと趣旨の回答が多数寄せられた。一方で、講義数が多分類も複数ある本学前期課程でどのように対処するのか、後期課程を見据えると科目選択が狭まる可能性がある、等の回答も一定数寄せられた。

○回答

[主に利点となるもの]

- 講義間のつながりを知るのに役立つ。(類似複数)
- 勉強のモチベーションにつながる。(類似複数)
- 学業の質の向上につながる。(類似複数)
- 履修を組む上で参考になる。
- 入学後の学習進路が見えにくく達成度わからないため、何を勉強して良いかわからなくなる時がある。

[コースツリーに関する指摘]

- 異なる部会でも、つながりがある科目はその旨示してほしい。
- 科目数が多く、全てを載せられないが、分割すると分類ごとのつながりが損なわれるが、この点どうするのか。
- 一部の総合科目で同じ科目でも講義内容が異なる科目があり、運用上困難もあるのでは。
- ディシプリンのしっかりした科目に限るべき。
- 後期課程を見据えている人にはコースツリーによって半強制的に科目を履修することになるのでは。
- 理系の一年生は必修科目が多くあまり選択科目を取れず、コースツリーはあまり意味をなさないのでは。講義の客観的レベルを知りたい。

[その他]

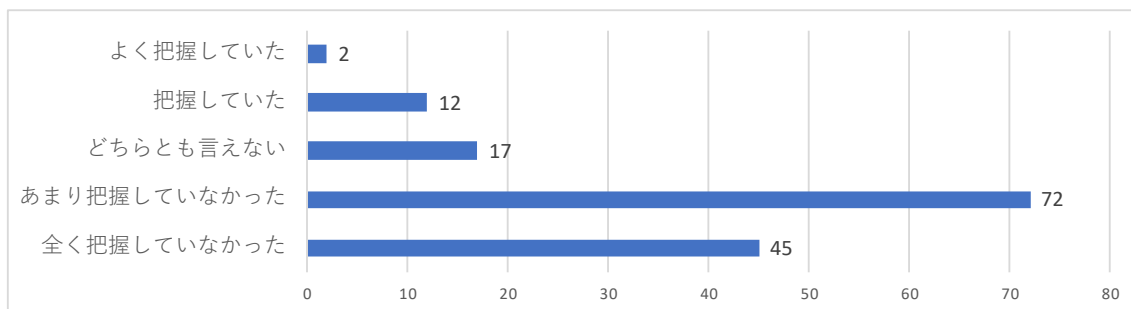
- 後期課程の専門科目とのつながりも示してほしい。
- 工学部に関しては、学科ごとに作るのが良い。
- 学問分野のつまみ食いかできて、大きく視野が広がるのは、人生でこの前期期間中のみ。
- 理系必修科目、教員ごとに扱う内容が異なると上下の科目で接続がスムーズに行えないのでは。

【内容 5】入学時のカリキュラム理解について

Q19 あなたは、入学時に本学前期課程のカリキュラムや、どんな授業が存在するかをどれくらい把握していましたか。

回答数：148

「よく把握していた」「把握していた」と回答した人が全体の 9.5%、「あまり把握していなかった」「把握していなかった」と回答した人が全体の 79.0%となり、残りの 11.5%が「どちらとも言えない」と回答した。全体の 8 割近くが否定的な回答をしており、この結果からは本学前期課程のカリキュラムが入学前の段階で十分に伝わっていないものと考えられる。合格が決まる前の状況を問うのが当初の意図であったが、入学手続きの段階まで含まれているとカイセる文面になってしまった。しかし、より遅い時点での理解度を尋ねたことになり、Q19での分析に大きく影響するものではない。



Q20 「入学時に本学前期課程のカリキュラムの特徴」を「よく把握していた」または「把握していた」とお答えになりました。あなたはどのように本学前期課程のカリキュラムを知ったのか、お聞かせください。[Q19で「よく把握していた」「把握していた」の回答者]

回答数：11

シラバスや履修の手引きといった学内向けの資料がいくつも挙げられ、学外向けの媒体(パンフレット等)を挙げた人は少なかった。合格が決まる前の状況を問うのが当初の意図であったが、入学手続きの段階まで含まれているようだ。

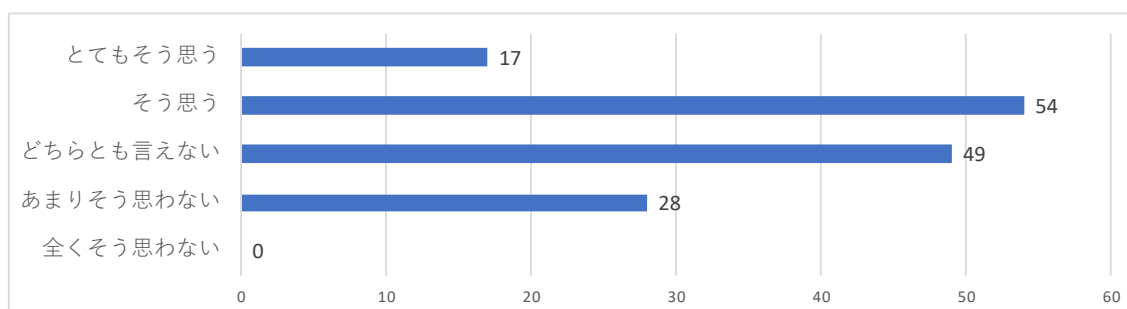
○回答

- シラバス(類似3件)
- 履修の手引き(類似3件)
- 学部便覧
- パンフレット
- 説明会
- 上級生からの話

Q21 あなたは、入学までに思い描いていたカリキュラムと実際とで、違いを感じましたか。

回答数：148

「よく把握していた」「把握していた」と回答した人が全体の48.0%、「あまり把握していなかった」と回答した人が全体の18.9%となり、残りの33.1%が「どちらとも言えない」と回答した。半数に近い人が入学までのイメージと異なっていたと回答した。



Q22 「入学までに思い描いていたカリキュラムと実際とで、違いを感じたと思いますか」という質問に対し、「とてもそう思う」「そう思う」とお答えになりました。具体的にどの点に違いを感じたのか、お聞かせください。[Q21で「とてもそう思う」「そう思う」の回答者]

回答数：58

選択の幅がある、授業ごとの関連で後に生きるものが多い、といった肯定的な回答があった。否定的な回答として最も多かった(33件)のは、必修が多く取りたい授業の履修が難しいとの回答であった。アクティブラーニングがない、知識の詰め込み、といった回答もあった。制度の面では、第二外国語が多い、理系で文科系の基礎科目を受講できない、などの指摘もあった。履修を組むという点では、自分で情報収集しないとけいず戸惑ったという回答もあった。

○回答

[総論]

- 思ったより選択の幅がある。
- 授業ごとの連関が分かり後に生きるものが多いカリキュラムが良い。
- 必修が多く（キャップ制により）取りたい授業の履修が難しかった。(類似 32 件)
- 議論を楽しみにしていたが必修が多く余裕がなかった。
- 時間割の制限で履修選択の幅が狭い。(類似 1 件)
- 総合科目で、分野別の指定があって、あまり興味がない分野も選ばねばならなかった。(類似 2 件)
- もっと自由に授業を選択できるものと思っていた。(類似 2 件)
- 点数を取れそうにない科目、負担になる科目は進学選択のために諦めざるを得なかった。(類似 2 件)
- 必修科目は数が多いが退屈、かつ進学選択のために相応の労力を割かねばならず苦痛。(類似 1 件)
- 理科一類と理科二類の必修が思っていたより違った。
- 理系はほとんど全ての時間で数式を使った。
- 理系のため役に立たない物理を強制された。
- 理科生は社会科学、人文科学の基礎科目を履修できない。(類似 1 件)
- 参考書で勉強すれば済む授業があった。
- 天下の東大で豊かで先進的なアクティブラーニングがあると期待していたが拍子抜けした。
- 自分で情報収集せねばならず履修の仕組みを知る際に危うかった。
- どんなカリキュラムなのか全く知らず全体的に戸惑いを覚えた。
- ゼミが少ない。
- 雑多に知識を詰め込むだけ。

[各科目]

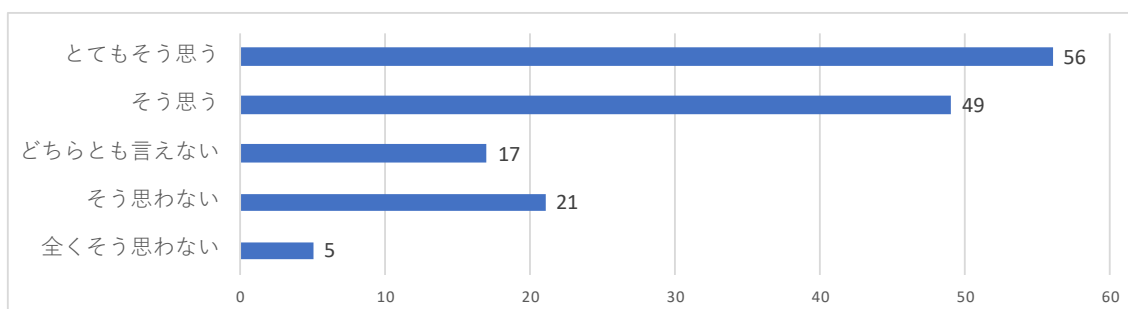
- 第二外国語、思ったより比重が大きい。(類似 3 件)

- 英語での授業が少なすぎる。
- 英語一列 G3、文法や表現を追いながら読解力を上げていくはずも、中身のないディスカッションばかりで苦痛。
- 日本史・地理に関する授業がほとんどなく驚いた。
- 力学、数理科学基礎の数学より難しく困惑した。
- 構造化学、量子力学と暗記事項の山。

Q23 あなたは、入学して必修科目が想像以上に多いと感じましたか。

回答数：148

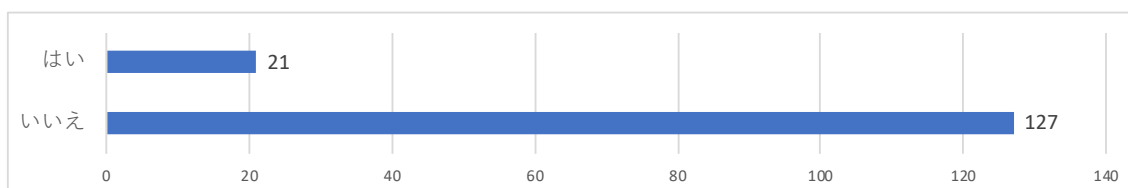
「とてもそう思う」「そう思う」と回答した人が全体の 70.9%、「そう思わない」「全くそう思わない」と回答した人が全体の 17.6%となり、残りの 11.5%が「どちらとも言えない」と回答した。Q22 の回答でも多く見られたように、全体の 7 割が必修が多いと回答した。



Q24 あなたは、受験校(進学校)選びにおいて、他学とカリキュラムを比較しようとしたことがありましたか。

回答数：148

「はい」が 14.2%、「いいえ」が 85.8%で、本学と他学との大学選びにおいてカリキュラムの点ではあまり比較されていないと言える。



Q25 あなたは、「受験校(進学校)選びにおいて、他学とカリキュラムを比較しようとした」とお答えになりました。具体的にどのように比較しようとしたか、また、比較の結果、各大学(特に本学)の特徴をつかめたかどうか、お聞かせください。[Q24で「はい」の回答者]

回答数：15

回答者の中では、パンフレットを利用したと回答した人が多かった。前期課程に魅力を感じた、特徴が掴めた、などの肯定的な回答がいくつもあったが、何が必修なのかわからなかった、詳細はわからなかった、といった否定的な回答も見られた。

○回答

[総論]

- パンフレットを比較した。
- 各大学の学部ごとの体系をパンフレットなどを通じて参考にし、特徴を掴むことができた。
- 以前は京都大学への進学を考えたが、実際に慶應義塾大学に在籍していた経験もあるので、その2校と特にカリキュラムを比較したことはあった。その2校と比べると、東大は必修授業の数が多いと感じた(特に慶應と比較して)。
- 他学のHPの履修の手引き的なものや大学案内冊子を見たが、何が必修なのか他学も含めよくわからなかった。本学に関しても科目一覧を見たが、何が何を教えている科目なのか、何が必修なのかもわからなかった。
- 文理問わず幅広い分野の授業が取れるかどうか。
- 人文社会科学系の講義を理系でも履修できるかどうかを比較した。各大学の特徴は大掴みにはできたが、詳細はわからなかった。
- 履修できる科目の幅がどれだけあるか比較した。東大は他大学に比べ、幅があるように思った。

[とくに前期課程について]

- 4年間学部で学ぶのか、2年間教養学部で学ぶのか
- リベラルアーツ教育があるかどうかの比較
- 前期課程に魅力を感じた
- 前期課程で幅広く教養を身につけられると分かった。
- 進学選択の有無
- UTASで閲覧した進学選択の情報によって、科類によって入りやすさに差があると分かり不公平と感じた。

[その他]

ある程度把握できた(つもりではいた)が、やはり入ってみないと分からないと言う部分が強かった。

【内容 6】最後に

Q26 最後に、本学のカリキュラムや履修の広報と、学びの面に関して、何か意見があればご自由にお書きください。皆様のご意見が、今後の交渉、大学の発展の糧となります。

回答数：35

この設問でも、必修が多く、集中しすぎている旨の意見が目立った。広報に関しては、入学前段階では、地方の高校生の情報量が少ないことを指摘した回答が2件あった他、具体的なカリキュラムが周知されていない旨指摘する回答もあった。入学以降では、履修制度についての情報が不十分であるとの回答が複数あった。また、前期課程と後期課程との生活面での違いを知りたいとの意見も寄せられた。「その他」に分類した回答では、履修制度に関する様々な要望が挙げられた。

○回答

[必修関連]

- もっと必修を二年のSセメスターにも分散すべきだと思う。
- 2Sが楽すぎ、そのギャップもあって2Aがきつい。(文2→経済の場合)
- 語学を始め要らない必修が多すぎてやりたい勉強が出来ない。必修の負担が重く楽な総合しか選べない
- 必修科目というものは無くても良いのではないか。大学生になってまで履修を強制されるのは不本意であり、それが進学選択と組み合わせると手を抜くこともできず、大きなストレスであった。
- 必修が多すぎる問題、教員によって期待できる得点が大きく違うことがある問題。そもそも105分授業が長すぎて辛い
- 1年次の必修が多すぎる。逆に2Sは少ない。均等に配分してほしい。ターム制をもっと活用してほしい。週1コマで4ヶ月やるより、物性化学のように週2コマで2ヶ月でやる方が効率が良い。105分の授業は長いと思う。集中がもたないので授業の質が落ちる。また、朝は早く夜は遅くなるので(特に家が遠い人にとって)負担が大きい。授業回数を増やしてもいいので90分に戻してほしい。
- 必修が一年のSセメスターに集中しすぎていて、入学直後の点数が進学選択まで関わってくるのは厳しい。必修を分散させてほしい。
- 必修減らせ
- 第二外国語は好きな人だけ取るようにしてほしい
- 工学部在籍ですが、前期課程の必修科目は、誇張なく何1つ後期課程に入ってから役に立っていません。数学も、物理も、化学も。

[履修に関する広報関連]

- 地方の高校生はそもそも情報が少なすぎるので、このようなカリキュラムのわかりやすい情報はインターネット等で広く公表することを強く推奨します
- 地方出身の生徒は東大の内部事情を知る機会が少ないということは是非忘れないでいただきたい。
- 説明が少ない
- もう少し具体的なガイダンスの場があっても良いと思いました。
- 学部入ってから決められる、という事実だけが一人歩きしている気がしますので、具体的なカリキュラムを広報していく必要があると思います。
- 本学では1年次に英語と第二外国語の学習に学習時間の半分以上を費やす必要がありますと全国にご周知なさると良いかと思えます。
- 入学時に履修のシステムが意味不明すぎて先輩に頼りきりだったが、学生同士の解決に頼っている現状はそもそもおかしいと思う。東大進学者が少ない高校出身だと圧倒的に不利になるのも問題だと思う。あと全体的に必修科目の先生方からは熱意を感じない。必ずしもご自身の専門ではないので仕方がないのかもしれないが、いっそ必修など廃止してはどうかと思うほど。
- 多くの新生が入学してから履修する科目を知ることになり、気持ちの準備が出来ていない状態で授業が進んでいってしまうので、合格発表後くらいの早い時期に1年のSセメスターではどのような科目を履修するのか、入学までにどのような学習の準備をしておくべきかを知らせる、または履修の手引きをもう少し早い段階で配布するなど、新生が授業開始前に学習に対する気持ちの準備を出来るようにするべきだと思う。また、いくつかの科目では課題の量が多く、そのために学習する時間があまり無いという科目が出てきてしまい、履修している科目をバランス良く学習することが出来なくなってしまいかねないため、特にALESSなど、課題の量が多い科目は課題を減らす工夫をするべきだと思う。また、必修科目のうち期末試験のある科目では、クラスによって担当教員が異なり、また試験の内容や難易度、成績の付け方が担当教員によって異なるため、同じくらいの学力を持った学生同士でも成績が大きく異なるということが起こり得、さらにそれが進学選択の有利・不利に関わってくるため、担当教員が異なっても期末試験や成績の付け方を統一するべきだと思う。
- 必修科目ないし選択科目の分量に関してガイダンスを開くべきであると考えます。
- 前期と後期の授業のあり方の差を前期のうちにもっと知ることができるようにしてほしいです。前期をのんびり過ごすことの代償が大きかったのです。
- 1年でも2年でも受講できる科目について、いつ取った方がより良いかの情報がまとまってあれば便利だと思います。
- 入学後受け取れる奨学金についての広報強化を希望する。

[コースツリー・シラバス関連]

- シラバスは紙でないと履修選びに支障があります。学部も、経済なら統計などの取っておいて欲しい講義を載せてほしい。

- シラバスについては、紙媒体（冊子）と電子媒体の両方があったほうが使いやすい。紙媒体では（実体のある）付箋をつけられるので、履修したい授業のページが素早く開ける（電子媒体の各種機能については、使い勝手が悪いと感じる人もいるかもしれない）。一方、電子媒体では時間割コードやキーワードによって検索する事ができ、ポートフォリオで見つけた授業を短時間で見つけることができる（これを紙媒体で行うと時間がかかる）。
- シラバスを紙にしてほしい
- コースツリーの導入に期待します。
- コースツリーの導入と、紙シラバスの復活を願います。
- 他大学とのカリキュラムの差は重要なポイントだと思う。文系では特に大学によって得意分野が違う。英語教育こそコースツリーが必要だ。アレサアレス FLOW の後にどの英語科目を受ければ英語が上達するのかわからないのは本当に困る。頑張ってください。

[その他]

- 文系が理系の基礎科目を、理系が文系の基礎科目を、低い障壁で履修できるとよいと思います。一応、前者は履修認定カードでできますが…。
- もっと参加型の授業の枠組みづくりに取り組むべきである。講義型だけでは学習効率も上がらないと思われる。
- 総合科目を同じ曜限にいくつも重複して入れないでほしい(特に必修と)。受けたい授業を受けられないことがしばしばある。必修の第二外国語のテストや評価方法は一律にした方が公平、教員間の差が大きすぎるのは進振りにおいて不利となり得る
- 前期課程から後期課程へイレギュラーな進学をした人の話をまとめた冊子が欲しい。
- 書いた通り。進学選択制度及び学生の科目理解度の公平化のために、理系必修の教員間・クラス間格差を早急に改善して頂きたい。
- 少人数授業でないならば、クラス指定をなくすべきだと思う。取りたい授業のダブルブッキングをなくすために。
- 東大は教育機関としてどう評価されてるのか。国内や外国の他大に比べて欠陥多そうで不安。